



韮崎の温泉は 濃〜い温泉!



ゆったり一日を過ごそう!

韮崎温泉 ゆ〜ぷるにらさき



国道を挟んで「道の駅
にらさき」を併設、買い物・
軽食もOK。

温泉、露天風呂、サウナ、
温水プールと様々な施設が
そろって、温泉は肌がツル
ツルになる「美肌の湯」と
して評判です。プールの後
に温泉もOK。家族そろって
一日ゆっくり楽しめます。



Data

TEL 20-2222
URL <http://www.kitzwellness.co.jp/nirasaki/index.html>
営業時間:10:00~21:00(受付は20:30まで)
休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)
料金:市内 大人(中学生以上) 300円
 小人(小学生以下) 200円
 市外 大人(中学生以上) 700円
 小人(小学生以下) 400円
泉質:ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉
(低張性弱アルカリ性高温泉)

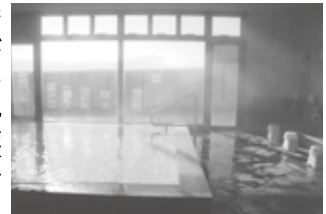


不思議なお湯の感覚を楽しもう!

韮崎旭温泉



源泉100%かけ流しの温泉で
す。透明薄緑色(エメラルド
色)、炭酸ガスを含んでいる
ため、きめ細かい泡が体を包
みます。内湯のみですが根強
いファンがいるようです。源
泉持ち帰り自由!



Data

TEL 23-6311
営業時間:10:00~20:00
休館日:火曜日
料金:大人(中学生以上) 600円
 小人(小学生) 300円
泉質:ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉
(低張性弱アルカリ性高温泉)



他にもあります日帰り温泉。足をのばしてみませんか?

穴山温泉 能見荘

TEL 25-5011
営業期間:年中無休
JR穴山駅から徒歩10分南アルプス
を望む静かないで湯です。
料金:大人 500円
 小人 300円

御座石温泉

TEL 0551-27-2018
090-8595-6143
営業期間:年中無休
鳳凰三山のふもと、川魚・山菜・野生
のきの料理が楽しめます。
料金:1000円

青木鉱泉

TEL 0422-51-2313
営業期間:季節営業・冬季閉鎖中
休:不定休
鳳凰三山ドンドコ沢登口に位置して
います。
料金:1000円
※ 鉱泉汲上げポンプ故障中、営業については
お問い合わせを!

武田の歴史に思いを馳せながら…

温泉 武田乃郷 白山温泉

天然かけ流しの温泉です。露天風呂からは昼は八ヶ岳・茅ヶ岳の眺望、夜にはきらめく葦崎の夜景が楽しめます。

Data

TEL 22-5050

URL <http://www.hakusanonsen.com>

営業時間:10:00~21:00

休館日:水曜日

料金:大人(中学生以上)600円

小人(3歳以上)400円

泉質:ナトリウム-炭酸水素塩・

塩化物泉

(低張性弱アルカリ性高温泉)



市立葦崎大村美術館、
そば処上小路も隣接!



節分のイベント 地域の行事

節分行事、豆まき

年男年女や力士(3名予定)が盛んに豆まきを行います。年男年女として節分行事に参加し、豆まきをすることもできます。(事前申し込み必要)

- 日時 2月3日(火)
節分行事14:00~
豆まき15:30~
- 場所 雲岸寺本堂
(中央11-2)



まいこんだ

子どもが鬼になって全世帯を回り、豆をぶつけられます。その時の掛け声が「まいこんだ、まいこんだ、福の神が舞い込んだ」というのでこう呼ばれているそうです。最後に神棚用に「福来る」と書かれた札を渡します。

- 日時 2月3日(火) 夜
- 場所 清哲町中谷・折居地区

コラム Column

節分と云えば「福は内」「鬼は外」と言いながら豆をまくのが一般的ですね。お父さんが鬼の仮面をかぶって鬼役をやったり、家族みんなで元気に豆をまいたり…。最近では、「吉方位に向けて恵方巻とよばれる太巻きをそのまま切らずに黙って食べる」という関西の風習も広まって来ましたが、今年の恵方は、東北東だそうですね。どちらもこの節分の日に一年の幸福を願う、日本人にとって今も大切な行事のひとつです。

昔から穀物には「邪気を払う霊力」があると考えられ、豆をまくことで「邪気鬼」を払うということだそう。豆まきの起源は平安時代の方違え(かたがたがえ)の中の「豆打ち」で、平安時代には節分の日に翌年の恵方(吉方位)にある家に宿を取る風習があつて、それが簡略化され、家の中の恵方にある部屋に移るといふ形式になり、部屋に入る前に豆をまいて邪気祓いをするようになったことに由来しています。

でも、なんで「豆」なのでしょう?

2月3日の「節分」は旧暦でいうところの「お正月」。暦の上では年変わりの日として考えます。節分には炒った豆をまくことで鬼(邪気を祓い、福を呼んで、年の数の豆を食べます。これによって年が健康に過ごせると云われています。

「鬼は外」「福は内」
〜 節分の話 〜